



やさしい能楽 1から始めるお仕舞体験講座

第14回『能楽体験ワークショップ』を開催しました！



所沢ミュージアム夏の恒例企画「能楽体験ワークショップ」を開催しました。14年続けてきたワークショップもミュージアム長期休館のため今年で一区切り。今年は8才～80代まで44名が参加し、例年以上に熱い2ヵ月間を過ごしました。

観世流能楽師の遠藤喜久先生を講師に迎え、7月から一般の部がスタート！6回の稽古でお仕舞（能の見どころを切り抜いた部分）を覚え、最終日にはキューブホールでお客様を前に成果発表するため、毎回の稽古に力が入ります！...が、力が入ると能の美しい姿勢から遠ざかっていくという。。力を抜きつつ、美しい型を体に叩き込みます。すり足、サシコミ、ヒラキ、サシ…何事も基礎が肝心なんですね。余談ですが、能は非常に筋力を使います。能の美しい姿勢＝出っ尻鳩胸！基本姿勢を維持するだけでも筋肉痛になるんです。

そして迎えた発表会。8月26日（日）『触れてみよう！能楽の世界』の第1部でお稽古の成果を発表です！普段味わえない緊張感のなか、200名以上のお客様の前で堂々と自信に満ちた仕舞を披露していました。

第2部では初めて「謡ってみよう！小鍛冶」を開催。客席の皆さんと能「小鍛冶」の一部分を謡ってみました。独特の節や言い回しもなんのその！会場全体に響く大音量の謡いに遠藤先生も感心していました。最後に遠藤先生やプロの能楽師による能「小鍛冶」を上演。名刀・小狐丸誕生のストーリーですが、刀や鎧など小道具がたくさん登場したり、稲荷明神の鮮やかな衣装や刀鍛冶の相槌をする姿など見応えある内容だったのではないのでしょうか？

ミュージアムは長期休館に入りますが、リニューアルオープン後、パワーアップした能楽体験ワークショップをお届けする予定です。お楽しみに！



昼の部



夜の部



講師・遠藤喜久先生



<生徒発表>一般の部



<生徒発表>小中学生の部



<生徒発表>「捨利」

小中学生の部は10名の子供たちが「小鍛冶（こかじ）」をお稽古。難しい動きが多く、スタッフは出来るか心配でしたが、たった2時間で1曲完成！子供たちの集中力には毎回驚かされます。たった3回のお稽古でしたが、能面のスケッチをしたり、能面マスクを被って舞ってみたり、楽しみながら能を勉強しました。そして、今年は小学3年生から参加してくれている青年たちが特別枠で参加。緩急をつけたダイナミックな「捨利（しゃり）」に挑戦しました。



能「小鍛冶」前半



能「小鍛冶」後半



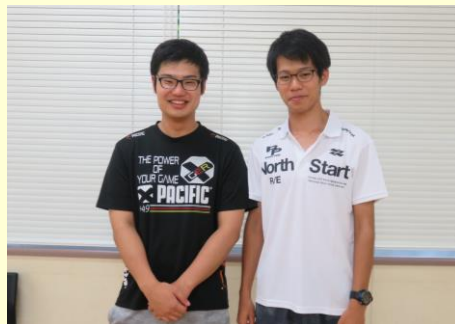
能装束展示



「小鍛冶」の稽古



能面スケッチ



「捨利」の2人



集合写真

